

# 劉鉄雲研究資料目録

## 清末小説研究会

### 凡 例

- 1 本稿は、Ⅰ『老残遊記』の版本、Ⅱ編著作目録、Ⅲ文献目録および附録で構成される。
  - 2 Ⅰ『老残遊記』の版本 表題・著者名・掲載誌あるいは発行所・発行年・冊数・序の有無・評の有無・備考・所蔵の順に記した。
  - 3 発行年は西暦紀元によみかえ、年次順に排列した。
  - 4 \*印を付したものは未確認である。
  - 5 発行年の、たとえば「\*1913/1921・1923(7)」版は1913年(初版)のものが1冊、1921年(初版)、1923年(7版)のものが1冊あることを示す。但し、\*印を付した1913年版は未確認。
  - 6 所蔵には、樽本の見た版本の所蔵者のみを記し、所蔵者がわかっても実際に見なかったものについては記さなかった。\*印をつけたもの以外で所蔵者の記していないものはすべて樽本蔵である。
- 略号(敬称略)
- 澤田＝澤田瑞穂  
 人文＝京大人文学研究所  
 外大＝大阪外国語大学  
 関大＝関西大学  
 倉石＝倉石武四郎
- 天理＝天理大学  
 実藤＝実藤文庫  
 中島＝中島利郎  
 国会＝国会図書館  
 東大＝東京大学  
 太田＝太田辰夫  
 尾崎実「老残遊記研究——テキストの系譜について——(初稿)」(『水門』創刊号水門の会 1963.7)を参考にした。なお、樽本照雄『老残遊記』の版本と修改について(『大阪経大論集』第109・110号 1976.3)を参照された。
- 7 Ⅱ編著作目録 劉淮生「先祖鉄雲公編著書籍目録」(良友版『老残遊記二集』所収)および蔣逸雪「劉鉄雲年譜」(魏紹昌編『老残遊記資料』中華書局1962所収)をもとにし、飯塚朗「〔翻訳老遊殘記・続集〕解説」(平凡社1969)を参照した。
  - 8 Ⅲ文献目録 A記事・論稿(中国語その他)、B記事・論稿(日本語)、C文学史・事典(中国語・日本語の順)、D翻訳(日本語・英語の順)、Eいわゆる太谷学派および黄崖教案関係で構成される。

- 9 くくは編者が便宜的に付したものである。
- 10 Cの文学史・事典については、目についたものだけを一応採取したにすぎない。
- 11 附録1 蝶隱の筆名で、憂患余生「鄰女語」第5～12回（『繡像小説』に掲載）に付された評語は劉鉄雲の筆になる文章である。蝶隱が劉鉄雲の筆名のひとつであることは、劉大紳「関於《老残遊記》」（『老残遊記資料』所収）の劉厚沢注釈32に見え、張静廬・林松・李松年「戊戌変法前後報刊作者字号筆名録」（『文史』第4輯中華書局1965所収）にも収録されている。原文は縦組み、圏点は右にうたれているが、今、横組みにし圏点のあるものは上に付した。『繡

像小説』の閲覧を許されました澤田瑞穂氏にお礼を申し上げます。

附録2 麻三斤坊こと西村博による「劉鉄雲の慈善事業」は、連載「天津だより」の一項として『大阪朝日新聞』に掲載された。この記事は、鉄雲の難民救済活動の一端を同時代の人が伝えている点でめずらしく、また彼の詩三首が収録されていて貴重である。

- 12 当用漢字を使用した。
- 13 本資料を作成するにあたって、飯塚朗「く翻訳老残遊記・続集」解説（『中国古典文学大系』51平凡社1969）および中島利郎「雑誌所収清末小説関係文献目録（初稿）」（『啞』第4号1975）を参考にした。

## I 『老残遊記』の版本

- 1 老残遊記 洪都百鍊生 『繡像小説』9—18期商務印書館  
有評 改竄あり 卷1—13 澤田蔵 1903—1904
- \*2 老残遊記(切抜) 天津日日新聞 1906?  
2冊 初序 有評 卷1—10/11—20 書版式
- \*3 老残遊記(抽印) 天津孟晋書社 1906?  
2冊 初序 有評 卷1—12/13—20 天津日日新聞社印刷  
(方)葉雨の印章あり
- 4 老残遊記二集(切抜) 鴻都百鍊生 天津日日新聞 1907  
2冊 二序 9巻 丁未莫冬既望(1907年陰曆12月16日)訂 人文蔵
- \*5 老残遊記 上海神州日報館 1907  
2冊 有評 32開本
- \*6 老残遊記(大本) 商務印書館 1912
- 7 老残遊記(小本) 洪都百鍊生 商務印書館 \*1913/1921・1923  
2冊 初序 有評 回数なし 外大・関大蔵 (7版)
- \*8 老残遊記 広益書局 1913  
2冊 石印 24開本
- 9 絵図老残遊記 ———— 新小説社 広益書局代售 1915  
4冊 無初序 有評(10章に評あり) 1—5/6—10/11—15/16—20章  
倉石蔵
- 10 精図老残遊記 洪都百鍊生 上海文芸書室・上海大文書局 1915・1923  
4冊 初序(丙午之秋) 有評(10章に評あり) 1—5/6—10/11—15/16—20章
- 11 劉氏原本老残遊記(40章) 洪都百鍊生 上海百新公司 1916・1923(19次)  
2冊 初序 有評 傅幼圃批閱 徐鶴齡校閱  
上編1—20章錢啓猷序 下編21—40章傅幼圃序 眉批あり 倉石蔵
- 12 老残遊記 ———— 上海泰東図書館 1922・1925(7版)  
1冊 無初序 無評 4巻20章 新式標点 天理蔵
- \*13 劉氏原本老残遊記(甲種) 上海百新公司 1924・1928  
40回 石印線装
- \*14 劉氏原本老残遊記(乙種) 上海百新公司 1924・1928  
40回 鉛印洋装
- 15 老残遊記 洪都百鍊生/劉鶯

- 上海亞東図書館 1925・1934(10版)
- 1冊 初序 無評 胡適序 汪原放校註
- 16 劉氏原本老殘遊記(丙種)  
丹徒劉鉄雲 上海百新公司 1928  
4冊 初序 有評 錢啓猷序 徐鶴齡檢閱 石印線裝 劉氏珍本とある  
1—5/6—10/11—15/16—20章 眉批あり
- 17 老殘遊記 洪都百鍊生/劉鏜  
上海光華書局 1928  
1冊 初序 無評 実藤蔵
- 18 老殘遊記 ———— 上海新文化書社 1931(再版)/1935  
1冊 無初序 無評 何銘標点 李逸侯校訂 中島・国会蔵
- 19 老殘遊記 洪都百鍊生/劉鶻  
上海広益書局 1934?/1949  
1冊 無初序 無評 朱益敏序 胡協寅校勘 (新6版)  
繡像仿宋完整本
- 20 老殘遊記二集 劉鉄雲/鴻都百鍊生  
『人間世』6—14期 上海良友図書館  
二序 序・卷1—4 天理蔵 1934
- 21 足本儒林外史老殘遊記 劉鉄雲 上海世界書局發行文芸出版社出版  
1935・1936(4版)  
1冊 初序 無評 本書特点/標点符号説明/老殘遊記考 趙苕狂/  
本書作者劉鉄雲伝/人名辞典 李崇孝 東大蔵
- 22 老殘遊記二集 劉鉄雲 上海良友図書館印刷公司 1935・1936(再版)  
1冊 二序 自序・1—6回  
林序/本書作者劉鉄雲先生軼事 劉大鈞/跋 劉大鈞・鉄孫/先祖鉄雲公  
編著書籍目録 劉淮生 人文蔵
- 23 老殘遊記 鉄雲 芸文書房 1942  
1冊 無初序 無評 正集20章 二集6章 太田蔵
- 24 老殘遊記 劉鶻 北京通俗文芸出版社 1956  
1冊 無初序 無評 第9・11回を削除
- 25 老殘遊記二集 劉鶻 良友図書館出版 香港太平洋公司發行  
1冊 二序 自序・1—6回 1956  
林序/本書作者劉鉄雲先生軼事 劉大鈞/劉大鈞跋/劉鉄孫跋 天理蔵
- 26 老殘遊記 劉鶻 人民文学出版社 1957  
1冊 初序 二序 無評 陳翔鶴校 戴鴻森注 出版説明 20回続集6回
- 27 老殘遊記的故事 劉鶻(鉄雲) 上海兒童出版社 1958  
1冊 卷4の後半部分のみ

- 28 老残遊記 劉鶚 香港商務印書館 1958・1966(8次)  
1冊 初序 二序 無評 26の影印 出版説明なし
- 29 老残遊記 劉鶚 台湾正中書局 1958  
1冊 無初序 無評 国会蔵
- 30 老残遊記初二集及其研究 劉鶚 台湾世界書局 \*1960/1967  
1冊 無初序 二序 無評 初集20章 二集4巻  
老残遊記作者劉鉄雲先生遺像／劉鉄雲先生日記二則／劉鉄雲先生遺詩三首  
／關於老残遊記 劉大紳／劉鉄雲先生軼事 劉大鈞・劉大傑／老残遊記序  
胡適／老残遊記考証 蔣逸雪／關於老残遊記兩題 魏如晦／關於黑妞白妞  
雨生／西洋文人對於老残遊記的印象 柳存仁訳 H. E. Shadick (謝迪克)  
／介紹研究老残遊記的新文献 柳存仁／希望能多讀一些劉鶚的遺著／讀小  
説瑣話奉答趙景深先生 劉厚滋
- 31 老残遊記二編外編 魏紹昌『老残遊記資料』上海中華書局  
二編卷7—9・外編 1962  
采華書林影印 1970
- 32 老残遊記 劉鶚 香港友聯出版社 1963  
1冊 初序 二序 無評 趙聰校点 20回続集6回  
重印老残遊記序 趙聰
- 33 老残遊記 劉鉄雲 香港芸美図書公司 1963  
1冊 初序 無評 上海世界書局本(1935)老残遊記部分のみの影印  
天理蔵
- 34 老残遊記 劉鶚 香港太平洋図書公司 1969  
1冊 初序 無評 原本並東図書館本
- 35 老残遊記 劉鶚 香港広智書局  
1冊 初序 二序 無評 正続集合訂本 20回続集6回
- 36 老残遊記 劉鶚 香港太平書局 1969  
1冊 初序 二序 無評 26の影印 出版説明なし
- 37 老残遊記全編 劉鶚 台湾芸文印書館 1972  
1冊 初序 二序 有評 初編20回 二編9回 外編
- 38 老残遊記二集 劉鉄雲／鏡雲  
1冊 無二序 孔版 6回 京都恒星社印刷 天理蔵

以下は『民国63年中華民国図書総目録』(台湾黎明文化事業公司 1974) および『中華  
民国64年全国総書目録』(台湾洪氏出版社 1975) による。

\*39 老残遊記 台湾大中国図書公司

\*40 老残遊記 台湾大衆書局

- \*41 老殘遊記(遊記) 台灣大眾書局  
 \*42 老殘遊記 台灣文化圖書公司  
 \*43 老殘遊記(大字足体) 台灣文源書局有限公司  
 \*44 老殘遊記 台灣王家出版社  
 \*45 老殘遊記 台灣東方出版社  
 \*46 老殘遊記 台灣哲志出版社  
 \*47 老殘遊記 台灣普天出版社  
 \*48 老殘遊記(遠東版精校本) 台灣遠東圖書公司  
 \*49 老殘遊記 台灣標準出版社 1964  
 \*50 老殘遊記与浮生六記 台灣標準出版社  
 \*51 老殘遊記 台灣廣明出版社  
 \*52 老殘遊記 台灣希代書版有限公司  
 \*53 老殘遊記 台灣清流出版社  
 \*54 老殘遊記 台灣現代教育出版社  
 \*55 老殘遊記(大字本) 台南北一出版社  
 \*56 老殘遊記 台南東海出版社  
 \*57 老殘遊記 台灣學海書局  
 \*58 老殘遊記二集 台灣世界書局  
 \*59 注釈老殘遊記(胡學康著) 台灣學海書局  
 \*60 老殘遊記浮生六記(合訂本) 台南東海出版社

## II 編著作目錄

- \*1 治河七說(治河五說統說二)  
 \*2 勾股天元草  
 \*3 弧角三術 二卷  
 4 歷代黃河變遷圖考 十卷 袖海山房光緒十九年(1893)石印本  
 5 三省黃河圖說 一卷 小方壺齋輿地叢鈔補編第四帙所收  
 \*6 芬陀利室存稿 光緒二十二年(1896)正月編定  
 \*7 唐十道表 未完 光緒二十六年(1900)  
 \*8 晉十九州表 未完 光緒二十七年(1901)五月  
 9 鉄雲藏龜 六冊 光緒二十九年(1903)石印本  
 \*10 鉄雲藏龜 上海蟬隱廬 1931.5 石印本 与鉄雲藏龜之余合六冊 附鮑鼎積文  
 11 鉄雲藏陶 三冊 封泥 一冊 光緒三十年(1904)  
 \*12 十一弦館琴譜 光緒三十三年(1907)  
 \*13 人命安和集 未完 宣統元年(1909)

- \*14 鈇雲藏印 初集～四集
- \*15 鈇雲藏印統集
- \*16 要藥分劑補正 稿本
- \*17 抱殘守缺齋遺詩 稿本
- \*18 抱殘守缺齋題跋
- \*19 抱殘守缺齋藏器目
- 20 抱殘守缺齋藏瓦 (柱に鈇雲庚子劫余録とある)
- \*21 鈇雲詩存
- 22 憂患余生著「鄰女語」第5回至第12回評語  
蝶隱 『繡像小説』第10～20期 光緒二十九年(1903)  
八月十五日～<光緒三十年(1904)正月十五日>  
『清末小説研究』第1号 1977.10.1
- 23 劉鈇雲先生日記中之幽默  
改題為「京堂」 『人間世』第24期 1935.3.20  
『宇宙風乙刊』第20期 1940.1  
台湾世界書局版『老殘遊記』
- 24 劉鈇雲先生日記之一頁  
『人間世』第24期 1935.3.20  
台湾世界書局版『老殘遊記』
- 25 抱殘守缺齋日記〈三則〉  
『考古社刊』第5期 燕京大学考古学社  
1936.12
- 26 劉鈇雲遺稿  
改題為「劉鈇雲先生遺詩三首」 『宇宙風乙刊』第22期 1940.3  
台湾世界書局版『老殘遊記』  
憶丙子歲二十六韻／登太原西城／太原返京道中宿明月店

### III 文献目錄

#### A 記事・論稿 (中国語その他)

- 1 <劉鈇雲伝> 羅振玉 原刻景印叢書集成統編『五十日夢痕録』台湾芸  
文印書館 1915
- 2 老殘遊記之作者 顧頡剛 「読書雜記」『小説月報』第15卷第3号  
1924.3
- 3 老殘遊記序 胡適 上海亞東図書館版『老殘遊記』 1925.12  
『胡適文存』3集卷6 上海亞東図書館  
1930.9  
『胡適文存』3集卷6 台湾遠東図書館  
台湾世界書局版『老殘遊記』  
『老殘遊記資料』中華書局 1962

- 4 <亞東版『老殘遊記』> 校讀後記  
汪原放 上海亞東圖書館版『老殘遊記』 1925. 12
- 5 讀老殘遊記 郁達夫 『達夫全集』第5卷敝帚集  
\*現代書局 初版 1928. 4. 15  
上海北新書局 3版 1929. 9. 15
- 6 老殘遊記 蔣瑞藻 『小說枝談』商務印書館 1931. 4  
孔另境編輯『中國小說史料』中華書局  
1959
- 7 老殘遊記考 趙苕狂 1933. 7. 25  
上海世界書局版『足本儒林外史老殘遊記』  
1935  
香港芸美圖書公司版『老殘遊記』 1963. 9
- 8 老殘遊記人名辭典 李崇孝 同上
- 9 老殘遊記作者劉鈇雲先生的軼事  
劉大鈞 \*『論語』第25期 1933. 9. 16  
『老殘遊記資料』
- 10 劉鈇雲先生軼事 劉大鈞 『人間世』第4期 1934. 5. 20  
改題為「本書劉鈇雲先生軼事」  
良友版『老殘遊記二集』 1935  
台灣世界書局版『老殘遊記』  
『老殘遊記資料』
- 11 <良友版『老殘遊記二集』> 林語堂序 1935. 1. 22  
林語堂 良友版『老殘遊記二集』  
『老殘遊記資料』
- 12 <良友版『老殘遊記二集』> 劉大鈞跋 1935. 2. 14  
劉大鈞 同上
- 13 <良友版『老殘遊記二集』> 劉鈇孫跋 1935. 2. 28  
劉鈇孫 同上
- 14 先祖鈇雲公編著書籍目錄 1935. 2. 28  
劉淮生 良友版『老殘遊記二集』
- 15 關於老殘遊記之統集 畢樹棠 「小說瑣志」『文飯小品』第3期 1935. 4
- 16 老殘遊記及其二集 趙景深 『新小說』第2卷第1期通号第6期7月号  
1935. 7. 15  
『小說閑話』上海北新書局 1937. 1  
郭箴一『中國小說史』商務印書館 1939. 5
- 17 劉鈇雲軼事 劉大傑 『宇宙風』第11期 1936. 2. 16  
台灣世界書局版『老殘遊記』  
『老殘遊記資料』

- 18 老殘遊記二集 阿英 『小説閑談』上海良友圖書印刷公司 1936. 6. 10
- 19 關於老殘遊記 劉大紳 1936. 11. 8  
\*『文苑』第1輯輔仁大學文苑社 1939. 4. 15  
『宇宙風乙刊』第20~24期 1940. 1~5  
台灣世界書局版『老殘遊記』  
『老殘遊記資料』
- 20 庚子聯軍戰役中的老殘遊記作者劉鉄雲  
阿英 『劍腥集』上海風雨書局 1939. 3  
『小説二談』古典文學出版社 1958  
『老殘遊記資料』
- \*21 一個外國人對於老殘遊記的印象  
謝迪克(Shadick, Harold) 『文苑』第1輯
- 22 『老殘』與『清廉』 凌霄漢閣(徐彬) 『中國公論』第2卷第3号 1939. 12
- 23 介紹研究老殘遊記的新文獻  
柳存仁 『宇宙風乙刊』第20期 1940. 1  
台灣世界書局版『老殘遊記』
- 24 西洋文人對於老殘遊記的印象  
Shadick, H. (謝迪克) 柳存仁譯 『宇宙風乙刊』第21期 1940. 2  
台灣世界書局版『老殘遊記』
- 25 關於『老殘遊記』 李流 『學術』第1輯上海學術社 1940. 2
- 26 關於黑妞白妞 雨生(柳存仁) 『宇宙風乙刊』第22期 1940. 3  
台灣世界書局版『老殘遊記』
- 27 希望能多讀一些劉鶚的遺著  
趙景深 「小説瑣話」 『宇宙風乙刊』第27期 1940. 8. 1  
台灣世界書局版『老殘遊記』
- 28 關於『老殘遊記』二題 魏如晦(阿英) 『宇宙風乙刊』第31期 1940. 10. 16  
『小説二談』古典文學出版社 1958  
「老殘遊記」版本考/白妞黑妞本伝
- 29 讀小説瑣話奉答趙景深先生  
劉厚滋 『宇宙風乙刊』第36期 1941. 1. 1  
台灣世界書局版『老殘遊記』
- 30 從老殘遊記談到東河 重聞 『中和月刊』4卷7号北京中和月刊社 1943. 7
- 31 老殘遊記考証 蔣逸雪 『東方雜誌』40卷1号 1944. 1. 15  
改題為「『老殘遊記』一集考証」 『文史雜誌』第4卷第1・2期合刊

- (香港影印) 1944.7  
台灣世界書局版『老殘遊記』
- 32 關於蔣逸雪先生所作『劉鶚年略』(通信)  
劉大鈞 『文史雜誌』第4卷第1・2期合刊 1944.7  
(香港影印)
- 33 日日新聞本的老殘遊記 方詩銘 『俗文學』第46期『中央日報』(上海)  
1947.12.12
- 34 老殘遊記裏的王小玉 陸萼庭 『俗文學』第67期『中央日報』(上海)  
1948.6.4
- 35 老殘遊記的作者 柳存仁 『人物譚』香港大公書局 1952.9
- 36 <The Travels of Lao Ts'an> Translator's Introduction  
Shadick, Harold "The Travels of Lao Ts'an"  
\*Cornell University Press 1952・1966  
台灣文星書店影印
- 37 「老殘遊記」的反動性和胡適在「老殘遊記」評語中所表現的反動政治立場  
張畢來 『人民文學』第64期 1955.2  
\*『新華月報』66 1955.4  
『明清小說研究論文集』人民文學出版社  
1959.2
- 38 略談「老殘遊記」 張畢來 『文芸學習』1955年3期 1955
- 39 應該以慎重嚴謹的態度來評語“老殘遊記”  
念如 『文學遺產』第83期『光明日報』 1955.12.11  
『明清小說研究論文集』
- 40 劉鶚及其“老殘遊記” 勞洪 『文學遺產』第87期『光明日報』 1956.1.8  
『文學遺產選集』第2輯作家出版社 1957.4  
『明清小說研究論文集統編』中國語文學社  
1970.1
- 41 試談“老殘遊記”——與張畢來同志商討“老殘遊記”另一面  
時萌 『文學遺產增刊』第2輯作家出版社 1956.1
- 42 向盤與紅頂子——讀《老殘遊記》  
許政揚 『文芸學習』1956年11月号 1956  
『中國古典小說評論集』北京出版社 1957
- 43 對“老殘遊記”的兩種不同評語 『書評動態』『讀書月報』 1956.12
- 44 老殘遊記二十卷統集六卷  
孫楷第 『中國通俗小說書目』北京作家出版社  
1957.1

\*45 老殘遊記簡論——兼評張畢來對老殘遊記的觀點

- 劉維俊 『河北日報』 1957.3.20
- 46 老殘遊記的問題 吳双翼 『明清小說講話』上海書局 1958.8
- 47 談老殘遊記 吳強 「蕉陰雜話」『中央日報』 1959.4.3~4
- 48 老殘遊記 孔另境 『中国小說史料』中華書局 1959.6  
 樂塢詩存初集 王以敏／小說枝談／清末四大小說家 魏如晦／介紹研究  
 『老殘遊記』的新文獻／俗文學46期 方詩銘 日日新聞本的老殘遊記／中  
 國俗文學研究 阿英 關於老殘遊記二題
- 49 劉鈇雲年譜 蔣逸雪 \*『揚州師範學院學報』3期 1959.12  
 『老殘遊記資料』
- 50 李伯元與劉鈇雲的一段文字案 魏紹昌 『光明日報』 1961.3.25
- 51 嚴薇青談怎樣評價劉鶚 張蕾 「學術簡報」『光明日報』 1961.8.4
- 52 劉鶚被戍之真因 南湖 「南湖錄憶」『中央日報』 1961.8.27
- 53 劉鶚和他的「老殘遊記」寧遠 『小說新話』香港上海書局 1961.3
- 54 關於《老殘遊記》的作者劉鶚 嚴薇青 『文史哲』雙月刊1962年1期 1962.2.1  
 『明清小說研究論文集統編』
- 55 『老殘遊記資料』 魏紹昌編 中華書局 1962.4  
 采華書林影印 1970  
 圖片〈劉鶚像·劉鶚四十六歲像 攝於上海·劉鶚四十九歲像 攝於北京·  
 《繡像小說》半月刊第9期封面·《老殘遊記》最早單行本裏封 天津日日  
 新聞社印刷 天津孟晉書社發行·《老殘遊記》第五卷插圖·《老殘遊記》  
 第十二卷插圖·《老殘遊記》外編原稿第一頁·《老殘遊記》外編原稿第七  
 頁〉／前言／《老殘遊記》初編自序／《老殘遊記》二編自序／《老殘遊記》  
 初編卷一至卷十七評語／《老殘遊記》二編卷七~卷九／《老殘遊記》外編  
 卷一／關於《老殘遊記》 劉大紳／《老殘遊記》作者劉鈇雲先生的軼事  
 劉大鈞／劉鈇雲先生軼事 劉大鈞／良友版《老殘遊記》二集跋一 劉大鈞  
 ／良友版《老殘遊記》二集跋二 劉鈇孫／劉鈇雲軼事 劉大傑／庚子聯軍  
 戰役中的《老殘遊記》作者劉鈇雲 阿英／劉鈇雲年譜 蔣逸雪／亞東版  
 《老殘遊記》序 胡適／良友版《老殘遊記》二集序 林語堂
- \*56 「老殘遊記」評介(上)(下) 林儒行 『暢流』第25卷第4~5期台北暢流半月刊社 1962.4
- 57 關於《考殘遊記》——《晚清小說》改稿的一節 阿英 『文學評論』第4期 1962.8.14
- 58 首先揭發清官罪惡的劉鶚

- 韜庵 『中国歴代小説家』香港上海書局 1963. 11
- 59 不能為劉鶚的壳国言行辨護——与嚴薇青先生商榷  
尺松 『文史哲』双月刊1964年6期 1964. 12. 15  
『明清小説研究論文集統編』
- 60 談劉鶚的《老殘遊記》 尺松 「文学遺産」第467期『光明日報』 1964. 6. 28
- \*61 劉鶚的「老殘遊記」 畏如 『文壇』第232号 1964. 7
- 62 為什麼要為漢奸辨護——讀《關於〈老殘遊記〉的作者劉鶚》  
李永先 \*『文史哲』双月刊1965年 1期 1965  
『明清小説研究論文集統編』
- 63 《老殘遊記》是一部什麼樣的作品  
王俊年 「文学遺産」第500期『光明日報』 1965. 2. 28
- \*64 從老殘遊記談黑白二姪 章銘九 『暢流』第33卷第12期台北暢流半月刊社  
1966. 8
- \*65 劉鶚与「老殘遊記」中的影射人物  
周燕謀 『古今談』45期台湾古今談月刊社 1968. 11. 25
- 66 The Travels of Lao Ts'an: An Exploration of its Art and Meaning (老殘遊記的芸術成就与政治意義)  
C. T. Hsia (夏志清)  
『清華學報』新7卷第2期文学論文集(下)  
台湾清華學報社 1969. 8
- 67 老殘遊記的價值 (上)(下)  
李辰冬 『學粹』第15卷第3~4期台湾學粹雜誌社  
1973. 4. 6
- 68 老殘遊記資料 黃俊東 『書話集』香港波文書局 1973. 9. 15
- 69 劉鶚和「老殘遊記」 伊藍 「晨統雜識」『文匯報』香港 1973. 11. 13
- \*70 老殘遊記考証 東台胡滌 『中華月報』第3卷第12期
- \*71 老殘遊記序 駱風和 華北書局版『老殘遊記』
- \*72 Postscript in Lao-ts'an yu-chi êr-chi  
邵子風

## B 記事・論稿 (日本語)

- 1 劉鉄雲の慈善事業 麻三斤坊 (西村博)  
「天津だより」『大阪朝日新聞』 1901. 3. 26  
『清末小説研究』第1号 1977. 10. 1
- 2 『老殘遊記』を読んで (1)~(3)  
松井秀吉 『満蒙』第13年第5~7号 1932. 5~7

- 3 「老残遊記」に就いて 内之宮金城 『支那語』第2巻第2号外語学院出版部  
1933.8.2
- 4 清末の社会小説に就いて  
大高嶽 『同仁』第8巻第6号 1934.6
- 5 小説に現れた清末官吏社会  
松井秀吉 『満蒙』第15年第7号 1934.7.1
- 6 老残遊記第9回の詩の解釈  
諸岡三郎 『支那語』第6巻第2～3号外語学院出版部  
1937.2～3
- 7 白描文学の『老残遊記』と黄河鯉  
橋川時雄 大阪毎日新聞社編『大黄河』 1938.6.17
- 8 〈翻訳老残遊記〉 解題 岡崎俊夫 『中国文学』第64号中国文学研究会 1940.8.1  
汲古書院影印
- 9 〈翻訳老残遊記〉 解説 岡崎俊夫 『老残遊記』生活社 1941.9.20  
追記・立間祥介  
『官場現形記下 老残遊記』【平凡社『中国古典  
文学全集』28 1960.7.20  
初版  
1962.4.1  
再版  
『老残遊記』平凡社『東洋文庫』51 1965.9.10
- 10 老残遊記の面白さ 田中克己 『中国文学』第81号 1942.2
- 11 〈翻訳老残遊記二集〉 訳者の言葉  
石田武夫 『老残遊記二集』芸文書房 1943.11.10
- 12 官僚批判の文学 小野忍 『中国文学』第102号華光社 1947.12.1
- 13 阿Q三代記——民国文学の系譜  
魚返善雄 『民国の文学』育生社 1948.11.15
- 14 中国における官僚批判の文学  
小野忍 東洋文化研究会議編『東洋の家と官僚』生活社  
1948.12
- 15 風俗小説の系譜2——いわゆる譴責小説について  
中野美代子 北海道大学教養部『外国語・外国文学研究』7  
1959
- 16 清末の譴責小説について  
内田道夫 東北大学『文学部研究年報』第11号  
1961
- 17 《老残遊記》における修辭的技巧とその文言的要素

- 鈴木直治 『清末文学言語研究会会報』 2 1962.10
- 18 『老残遊記語彙注釈索引』  
鈴木直治 清末文学言語研究会会報単刊 3 1963.3
- 19 評価《老残遊記資料》 太田辰夫 『大安』 9巻3号 1963
- 20 老残遊記研究——テキストの系譜について（初稿）  
尾崎実 『水門』 創刊号水門の会 1963.7
- 21 《訓読吏文》について——白話旧小説における語彙研究の資料  
鈴木直治 『書報』 №57 極東書店 1964.1
- 22 清末社会小説（下） 大村益夫 『東洋文学研究』 第15号 早稲田大学東洋文学会  
1967.3
- 23 〈翻訳老残遊記・続集〉解説  
飯塚朗 『官場現形記下 老残遊記・続集』 平凡社  
『中国古典文学大系』 51 1969.6.5
- 24 執念の人——老残遊記の作者劉鶚について  
樽本照雄 『野草』 第2号中国文芸研究会 1971.1
- 25 劉鉄雲と老残遊記 樽本照雄 『大阪経大論集』 第97号 1974.1
- 26 劉鉄雲と友人たち 樽本照雄 『野草』 第17号 1975.6
- 27 老残遊記外編は偽作か 樽本照雄 『啞啞』 第5号啞啞の会 1975.12
- 28 『老残遊記』の版本と修改について  
樽本照雄 『大阪経大論集』 第109・110号 1976.3
- 29 天津日日新聞版『老残遊記二集』について  
樽本照雄 『野草』 第18号 1976.4
- 30 『老残遊記』試論 樽本照雄 『清末小説研究』 第1号 1977.10.1

## C 文学史・事典

- 1 〈劉鶚〉 胡適 「五十年来中国之文学」 1922.3  
『胡適文存』 2集巻2 上海亜図書館 1924.11  
1925.3再版  
台湾遠東図書館 1953.11
- 2 〈洪都百鍊生〉 魯迅 「第28篇 清末之譴責小説」 『中国小説史略』  
（下）\*新潮社 1924.6  
\*北新書局 合訂本 1925.9  
\*『魯迅全集』（紀念本）第9巻復社 1938.8  
『魯迅三十年集』 9魯迅全集出版社 1941.10  
『魯迅全集』（注釈本）第8巻人民文学出版社  
1957.12  
『魯迅全集』 第9巻人民文学出版社 1973

- 3 〈老殘遊記〉〈劉鐵雲事略〉  
范煙橋 『中国小説史』\*蘇州秋葉社 1927.12  
香港影印 1967
- 4 〈劉鶚〉  
盧冀野先生講【柳·潘·周·陸記  
『近代中国文学講話』上海今文堂新記書局  
1930.5
- 5 〈劉鶚〉  
陳炳堃 『最近三十年中国文学史』上海太平洋書店  
1931.5再版
- 6 劉鶚  
譚正璧 『中国文学家大辞典』上海光明書局 1934.12  
香港影印 1961.10
- 7 〈老殘遊記〉  
譚正璧 『中国小説發達史』上海光明書局 1935.8
- 8 〈劉鶚〉  
陳子展 『中国文学史講話』下冊北新書局 1937.6
- 9 〈劉鶚及其老殘遊記〉  
阿英 『晚清小説史』商務印書館 1937  
作家出版社 1955  
香港影印(1955年版) 1966  
台湾影印(1937年版) 1968
- 10 〈老殘遊記〉  
楊蔭深 「章回小説的進展」『中国文学史大綱』  
\*商務印書館 1938.6  
香港影印 1961
- 11 老殘遊記  
郭箴一 『中国小説史』\*商務印書館 1939.5  
香港影印 1961.10
- 附老殘遊記及其二集 趙景深
- 12 劉鶚  
楊蔭深 『中国文学家列伝』\*昆明中華書局 1939  
香港影印 1962.11  
台湾影印 1969.10
- 13 〈老殘遊記〉  
霍衣仙 『新編中国文学史通論』\*培正書局 1940.11  
改訂  
香港影印
- 14 劉鶚  
房兆楹 Hummel, Arthur W. (ed.) "Eminent Chinese of the Ching Period"  
\*Government Printing Office 1943-1944  
台湾影印 1972
- 15 老殘遊記  
善秉仁 'Ancient Fictiton' "1500 Modern Chinese Novels & Plays"  
\*北平 1948  
香港龍門書店 1966
- 16 〈劉鶚〉  
劉大傑 「第31章 7 清末的小説」『中国文学發展史』下卷

- \*上海中華局 1949.1  
上海古典文學出版社 1958.3  
香港影印 1962.9  
北京中華書局 1963.7
- 17 〈老殘遊記〉 吳小如 「晚清的俠義小說和譴責小說」『文芸學習』第8期 1955  
『中國小說講話及其它』上海出版社 1955.10
- 18 〈老殘遊記〉 柳存仁 「第18章清代的戲曲和小說」『中國文學史』(挿圖本) 香港大公書局 1956.4  
1961.1 6版
- 19 劉鶚與曾樸 葛賢寧 『中國小說史』中華文化出版事業委員會 1956.11  
初版 1956.12  
再版
- \*20 儒林外史與老殘遊記——辛辣的諷刺  
秦准碧 『中國文學史簡話』香港上海書局 1957.4
- 21 〈劉鶚〉 陸侃如 馮沅君 『中國文學史簡編』(修訂本) 作家出版社 1957.7
- 22 老殘遊記及其作者劉鶚 北京大學中文系文學專門化1955級集體編著 『中國文學史』下冊 人民文學出版社 1958
- 23 老殘遊記及其作者劉鶚 北京大學中文系文學專門化1955級集體編著 『中國文學史』(修訂本) 4 人民文學出版社 1959.12
- 24 劉鶚及其《老殘遊記》 復旦大學中文系古典文學組學生集體編著 『中國文學史』下冊 中華書局 1959.12
- 25 《老殘遊記》及其作者劉鶚 北京大學中文系1955級《中國小說史稿》編輯委員會 『中國小說史稿』 人民文學出版社 1960  
采華書林影印 1972
- 26 《老殘遊記》 復旦大學中文系1956級中國近代文學史編寫小組編著 『中國近代文學史稿』\*中華書局 1960.5  
采華書林影印 1969
- 27 《老殘遊記》 北京大學中文系57級編 『中國文學發展簡史』 中國青年出版社 1961

- 28 老殘遊記和它的作者劉鶚  
 吉林大学中文系中国文学史教材編写小組編著  
 『中国文学史稿』4 \*長春吉林人民出版社  
 1961  
 采華書林影印
- 29 劉鶚  
 『辞海』(試行本) 第10分冊文学・語言文字  
 \*中華書局 1961.10  
 香港影印 1976
- 30 老殘遊記  
 同上
- 31 老殘遊記及其他 游国恩等 『中国文学史』4 人民文学出版社 1964.12
- 32 <老殘遊記> 曹聚仁 「新小説」 『文壇五十年(正集)』  
 香港新文化出版社
- 33 <老殘遊記> 秦孟瀟 「諷刺小説と譴責小説」 『中国小説史初稿』  
 星洲世界書局有限公司
- 34 老殘遊記 今村与志雄 『世界歴史事典』20 平凡社 1954.3.25
- 35 「老殘遊記」 入矢義高 『研究社世界文学辞典』 1954.10.1
- 36 劉鶚 入矢義高 同上
- 37 劉鶚 『大人名事典』8 平凡社 1954.11.30
- 38 老殘遊記 中国文学研究会  
 『中国新文学事典』河出書房 1955.11.25
- 39 <劉鶚> 小野忍 『現代の中国文学』毎日新聞社 1958.5
- 40 老殘遊記 中野美代子 『世界名著大事典』6 平凡社 1961.3.25
- 41 劉鶚 小野忍 『アジア歴史事典』9 平凡社 1962.4.14
- 42 劉鶚 『世界名著大事典』8 平凡社 1962.4.30
- 43 劉鶚 太田辰夫 中国語学研究会関西支部編 『中国語と中国文  
 化』光生館 1965.5.10  
 1970.4.25
- 44 劉鶚 内田道夫 『新潮世界文学小辞典』新潮社 1966.5.10
- 45 劉鶚 大島利一 『世界大百科事典』23 平凡社 1967.12.25
- 46 老殘遊記 岡崎俊夫 同上
- 47 『老殘遊記』 尾上兼英 『現代教養百科事典』9 文学  
 曉教育図書株式会社 1968.4.1
- 48 老殘遊記 大村益夫 『中国語学新辞典』光生館 1969.10.15  
 1970.5.1
- 49 老殘遊記 尾上兼英 『大日本百科事典ジャポニカ』18  
 小学館 1971.9.15
- 50 劉鶚 尾上兼英 『万有百科大事典』1 文学

- |  |                 |  |                                    |
|--|-----------------|--|------------------------------------|
|  |                 | 小学館  | 1973.8.10                          |
| 51〔老残遊記〕                                     | 尾上兼英            | 同上   |                                    |
| 52 老残遊記                                      | 中野美代子           | 『グランド現代百科事典』20<br>学習研究社                              | 1974.1.1                           |
| 53 劉鶚  | 中野美代子           | 同上   |                                    |
| <b>D 翻 訳</b>                                 |                 |  |                                    |
| 1 支那近代小説『老残遊記』1～5                            | 松本二郎            | 『満蒙』第7年第73～77冊                                       | 1926.5～9                           |
| 2 華文和訳法（初集2回の部分訳）                            | 武田武雄            | 『支那語』第2巻第1号 外語学院出版部                                  | 1933.1                             |
| 3 註釈老残遊記                                     | 井田啓勝            | 『新興支那語』第2巻第7号 東京尚文堂                                  | 1937.7                             |
| 4 老残遊記（序・第1～6回）                              | 岡崎俊夫            | 『中国文学』64～67号 中国文学研究会                                 | 1940.8～12                          |
| 5 老残遊記（序・第1回）                                | 近藤昌註・訳          | 『支那語』第9巻第9・12号 第10巻2～5・7～12号                         | 1940.9・12<br>1941.2～5<br>1941.7～12 |
| 6『老残遊記』（全20回）                                | 岡崎俊夫            | 生活社  | 1941.9.20                          |
| 7『老残遊記二集』（全6回）                               | 石田武夫            | 芸文書房   | 1943.11.10                         |
| 8『老残遊記』（全20回）                                | 岡崎俊夫            | 『中国古典文学全集』28 平凡社                                     | 1960.7.20<br>1962.4.1              |
| 9『老残遊記』（全20回）                                | 岡崎俊夫            | 『東洋文庫』51 平凡社   | 1965.9.10                          |
| 10『老残遊記・続集』（初集20回二集6回）                       | 岡崎俊夫<br>飯塚朗     | 『中国古典文学大系』51 平凡社                                     | 1969.6.5                           |
| *11 The Singing Girl                         | Waley, Arthur   | “Asia”   | 1929.11.29                         |
| *12 “A Nun of Taishan”                       | 林語堂             | 上海商務印書館  | 1936                               |
| *13 The Travels of Lao Ts'an: A Social Novel | Shadick, Harold | “Yenching Journal of Social Studies”<br>Vol. 2 No. 1 | 1939.7                             |
| 14 “Tramp Doctor's Travelogue”               |                 |  |                                    |

- 林疑今 葛德順  
上海商務印書館 1939
- \*15 “Lao Ts’an Yu Chi; Mr. Decadent by Liu Ngo”  
楊憲益 Taylor, G. M. (Gladys Yang)  
南京 Tu Li Publishing Company 1947
- 16 “Mr. Derelict” 楊憲益 Taylor, G. M.  
London, Allen and Unwin 1948
- 17 “The Travels of Lao Ts’an”  
Shadick, Harold  
\*Cornell University Press, Ithaca, New York  
1952, 1966  
台灣文星書店影印
- E いわゆる太谷学派および黃崖教案關係**
- 1 黃崖教匪 戴蓮芬 『鸚鵡軒質言』卷1 上海進步書局 1879.10  
『筆記小説大觀』5115頁
- 2 張積中伝 胡鑑玉 『虞初近志』上海広益書局 1913.7  
1919.8 7版  
『筆記三編本虞初近志』第3卷台湾広文書局  
1960.12
- 3 黃崖誣反案 徐珂 『清稗類鈔』第9冊嶽訟(下) 商務印書館  
1917.11
- 4 大成教 徐珂 『清稗類鈔』第15冊宗教
- 5 大谷教 章士釗 『孤桐雜記』『甲寅周刊』第1卷第39号  
1927.1.8
- \*6 記大成教 章士釗 『甲寅雜記』
- 7 秦州学案 金天翮 「通訊欄」『甲寅周刊』第1卷第44号  
1927.2.26
- 8 秦州教 丁洽明 「通訊欄」『甲寅周刊』第1卷第45号  
1927.4.2
- 9 論太谷学派与宗教答章行啟  
盧冀野 『国聞週報』4卷18期 1927.5.15
- 10 太谷学派之沿革及其思想——清学旁搜記  
盧冀野 『東方雜誌』24卷14号 1927.7.25
- \*11 秦州学派源流述略 盧冀野 『東南論衡』第1卷第7期 1926
- 12 周太谷伝 金天翮 『国学論衡』2期 1933.12.1

- 13 太谷學記 盧前(冀野) 『酒邊集』上海會文堂新記書局 1934.6
- 14 同治五年黃崖教匪案質疑 劉厚滋 『史學集刊』第2期國立北平研究院史學集刊編輯委員會 1936.10
- 15 黃崖教案質疑補 劉厚滋 『史學集刊』第3期 1937.4  
1939再版
- 16 張石琴與太谷學派 劉厚滋 『輔仁學誌』第9卷第1期 1940.6
- \*17 太谷教中之李晴峯 任蕪 『中央日報』 1948.11.27
- 18 大成教魁·崆峒教 馬叙倫 \*『石屋統藩』上海建文書店 1949.3  
『老殘遊記資料』96~97頁
- 19 黃崖教匪 中國史學會主編  
「山東軍興記略卷21」中國近代史資料叢刊『揔軍IV』神州國光社 1953.4
- 20 泰州教 鄧之誠 「骨董瑣記」卷3 『骨董瑣記全編』生活·讀書·新知三聯書店 1955.7
- 21 黃崖山案部分 中國史學會濟南分會編  
『山東近代史資料』(第1分冊)  
山東人民出版社 1959.9
- 松門坐月圖1~3 閻敬銘與單為總書札/閻敬銘圖剿黃崖山奏摺/汪寶樹黃崖遊記/汪寶樹無題詩四首/黃崖山案史料二種/吳載勳哀啓/吳載勳履歷/陳恩壽行述 陳冕/黃崖案/張積中文稿十篇/黃崖案的回憶 吳咨白/泰州教 鄧之誠/又泰州教/李龍川先生/黃崖紀事略/黃崖教匪/黃崖誣反案/張積中傳 胡韞玉/紀黃匪獄/黃崖案/友竹草堂隨筆 蔣慶第/“說庫”大嶽紀黃崖教匪獄跋 清虞山黃人/大嶽記附龍川先生詩鈔跋/丁寶楨沂匪就擒地方肅清奏摺/黃崖山訪問記 尹承源
- 22 清季太谷學派史事述要 馬幼垣 『大陸雜誌』第28卷第10期 1964.5.31

## 附錄 1

## 憂患余生著「鄰女語」第5回至第12回評語

## 蝶 隱

## 第5回 『繡像小說』第10期癸卯（1903）八月十五日

## 蝶隱加評

水退以後，便壳兒鬻女償還米款，可知山東連年災患，家無蓋藏矣。蒲台一語，激動百姓，幾釀大亂，是警放賑人，不是鼓亂民，讀者勿疑。喫馬糞，餒餓北方之民情，可慘。演說行軍，儼然如畫，恐演時不及此景耳。荏平風景，慘況耳，作者勿以繁華視之。店主奉承不磨，以馬不以人，忝上回送馬人語。酒醉漢，豈獨一隔壁人，中國人那一箇，不是醉漢。兩曲往復，纏綿煞有深意，惜未見此人一道衷情耳。此回鄰女又一鄰女，此回結局又一写法。

## 第6回 『繡像小說』第13期〈癸卯（1903）十月初一日〉

## 蝶隱加評

此回多微言，閱者當細讀之，不可輕易放過。死者之衣，即為生者剝去的是，庚子年道中實情。東光縣樹林人頭，較之酒池肉林何如。義和團借不畏槍砲四字，哄動一時，愚民信之，已覺可怪，不料一班士大夫亦復蠢如鹿豕，國家事烏得不壞。梅軍慘殺拳匪，拋聞亦屬私忿，並非因公罪而誅也。寫出一箇東光縣糊塗昏憤的情景，儼然如畫，今之自督撫以下類同然也。洋兵一節，大有所指，亦紀者之微詞乎。

第7回 『繡像小說』第15期〈癸卯（1903）十一月初一日〉

蝶隱加評

劉光才之戰言人人殊此段或其實歟

居庸關打着旗号吹着喇叭而來者洋兵之遊騎也數遊騎而令中国兵將駭亂如是豈不可嘆

沈仲礼此次誘敵頗得用兵之法

德国統帥所言中国末有一個能說話的一句罵尽中国官場

科甲出身最無胆八字罵尽中国讀書人

中国官善於發抖一種定相咄咄逼人

德全鼎知鼎想做開国元勳中国官那一個不存此意

仲礼說洋兵用強力來奪一篇婉諷之詞可驚可痛

宣化府知府守旧党之怪相如見其肺肝然

第8回 『繡像小說』第16期〈癸卯（1904）十一月十五日〉

蝶隱加評

旗下人是糊裏糊塗的一語罵尽

哄小兒的法子哄今日政府諸公不知能行否我欲向作者一叩也

都統平日怨声載道恐其被人乘機殺害沈道台有特識安得处处有此人

都統嫌送礼不穀再送一座中国江山何如

旗兵打聽無事又來應卯喫糧中国兵那一個不如此

沈道台交付盈餘銀兩彌補庫款一大樂事也彼牟利之徒焉知大体騙了

德兵下関胸中早有成竹豈今日貿貿然者可同日而語

都統說手下兵沒有一個是洋兵对手頗有自知之明

都統說人糊塗我不知中国人明白的是個甚麼樣子

第9回 『繡像小說』第17期〈癸卯（1904）十二月初一日〉

蝶隱加評

德国統帥中了沈道台調虎離山之計不肯發難是文短不是輕恕

都統攘功一派胡言中国官箇箇有此伎倆

毓賢痛恨洋人是中國全國代表又是中國官場唯一之見  
 毓賢在山西誅殺教士此篇用渡筆惜未暢寫其殘忍無人之狀  
 鄭道之死有謂不確者姑存其疑  
 莊王臨死之言確是天潢貴胄見界

### 第10回 『繡像小說』第18期〈癸卯（1904）十二月十五日〉

蝶隱加評

聶提督痛剿拳匪獲罪甚奇下回補出便見分曉

聶兵後與拳匪誓不兩立各自為戰大小戰將及百次而拳匪於是乎盡

拳匪要挾必殺聶士成而後肯戰未幾聶士成戰死而拳匪終未出一戰也

本朝向例重文輕武最是惡習而有聶士成之報可異也

北洋大臣奏報勝仗到京京師以為天下可慶太平群相稱賀比至聯軍入京尚有以為  
 誣報者

端王犒賞拳匪銀十萬而此銀聞為李來中所得

張德成騙取銀三千而可發一笑其情其景宛然在目

直隸總督拜跪黃連聖母當時同寅亦相譏刺而鄙夫因保祿位之故不惜身命為之孤  
 注其愚真不可及

拳匪所附托之神離奇不經雖小兒亦知其妄而旗員中信之不疑即是平日不讀書之  
 故

### 第11回 『繡像小說』第19期〈甲辰（1904）正月初一日〉

蝶隱加評

裕祿慷慨死節與李秉衡同一畏罪而死並非存心大義

聶士成之死最慘死時肚腹已腐因死時適在夏日也

張德成一無知小民較之李自成萬不及一同為裂腦而死意者天心厭惡故設此嚴法  
 以昭示後人耶

二詩馮弔戰士自有身分。

### 第12回 『繡像小說』第20期〈甲辰（1904）正月十五日〉

## 蝶隱加評

窮翰林出身○便是極勢利極熱中的○小人窮翰林聽者○  
 徐桐恐貽後患○不肯提拔故○旧門生獨知鍾愛其子○豈知子即制其死命者○  
 想做開國元勳○豈僅徐桐徐承煜兩箇○  
 徐相惟恐性命不保○卒至性命不保○反做出一篇醜歷史○  
 徐相父子詬誶之詞○絕妙一篇官場行述○  
 徐啓二人忽然念記父母○也是天良發現之時○也是遮飾之語○  
 李鴻章答徐啓二人之語○足見胸中自有主章○

## 附 録 2

## 劉 鉄 雲 の 慈 善 事 業

## 麻 三 斤 坊

「天津だより」『大阪朝日新聞』明治34（1901）年3月26日

北京に劉鉄雲と云ふ男が居る官は候補道台で元と英伊シンジケート（福公司）の総辨をして居つたが事變前守旧党の御史から弾劾せられて危い所を上海に逃がれた頗る濶達で頗る無頓着で能く書生を世話する支那人にしては珍しい男だ動乱後上海から慈善会会長と為つて遣つて来て引続き北京に居る慈善会には自ら数万の金を捐したと云ふ事だ今は倉米を原価で売捌く事と貧民に衣類を与へる事と葬式の出来無い者へ棺材を与へる事を仕事として居る北京で不断廉い米が買へるのは全く劉の御蔭だと云つて支那人も喜んで居る此頃雜感三首を送つて来た能く当時北京の実況を写し然かも其詩に活気があるからちよつと書て置かう

## 雜感四首錄三

積骸成莽陣雲黃	九月乘槎入帝鄉
夢裡鴛鴦空呷々	眼前鸞雀綵茫々
玉魚金盃朝陳市	碧血青燐夜吐光
畢竟是非有定論	滿城人盡怨端剛

西望長安想翠華	蓬萊宮闕陣雲遮
干戈繚亂名王府	刁斗森嚴上相家
百姓含辛空有淚	九門茹苦盡無譁
回思衆正盈廷日	天縱神拳不任誇

端毓剛徐趙李倫	奧高采烈殺洋人
兩宮法駕依回匪	半部尚書作順民
十一國旗飄上苑	三千宮女感東隣
太和門裏輕球起	疑是紅燈又顯神